

# 小海中だより

2024. 10. 27  
NO. 7

小海中学校ホームページ<<http://www.koumi-jhs.ed.jp/>>からもご覧いただけます。



## 小海探究中学校

10月16日(木)に1日清流の日を設けました。清流祭で発表したことをさらに深め、次年度につながる活動を行いました。

1年生は、自分たちが探究した内容を持ち、佐久市立浅間中学校に出向き、1年生同士で発表会を行いました。お互いがよい刺激を受けました。浅間中の教頭先生からは、小海中学校の生徒は全員がしっかり話せていて気持ちよかったとお褒めの言葉をいただきました。自信になったのではないのでしょうか。その後は佐久市のヘルシーテラスで特産を学び、岩村田商店街の取り組みを学びました。同じ佐久地域でも自分たちの住む場所との違いを感じ、自分で問いを見つけるきっかけになったでしょう。ここで得たことを来年の職場体験学習につなげていきます。



2年生は職場体験学習で感じた地域の良さや課題をもち、自分の問いを持ち、もう一度地域へ出て、学びを深めました。町村のみなさんの協力もあり、3町村に分かれて出向き、現場で探究を行いました。「未来プロジェクト」と名付け、地域の強みと弱みを知り、どのような工夫をするとさらに魅力ある地域に成長するかを中学生目線で考えました。3年生になった時の個人探究につながる学びができました。



3年生は小海中学校区で行う「5校フロンティア」への発表に向けて、清流祭で発表した内容をさらに深める活動を行いました。個人探究ですので、自分で問いを持ち、実際に活動する生徒、ICTを活用する生徒、図書館で調べる生徒など様々でしたが、目を輝かせて発表準備をしました。中には友と学び合う姿もあり、自分で学びを進める姿に成長を感じました。授業参観日でも同じ発表を行いますので、力も入ったようです。感想をお寄せいただけるとありがたいです。



小海中学校はこれからも探究し続けます。職員も探究します。職員の探究はレポートにして校内に掲示しています。機会がありましたらぜひご覧ください。

## みんなが幸せに生きるために

人権教育旬間を行っています。旬間のスタートに、校長講話を聞きました。「人権」とは、誰もが生まれながらに持っている“幸せに生きる権利”のことです。名前、考え方、見た目、得意・不得意なことなど、それぞれちがいがあからこそ、おたがいを認め合うことが大切になります。

生徒たちの感想を聞くと、アメリカの初代大統領ジョージ・ワシントンにまつわる「柱に釘を打ちつける」というお話がとても印象に残ったと多くの生徒から聞きました。



人は誰でも間違いをします。そのあとにどう行動するかが重要です。校長先生は、「自分のしたことを反省し、次に生かすことの大切さ」を伝えてくださいました。

では、「善いこと」と「悪いこと」の違いはどのように決まるのでしょうか。「人に迷惑をかけることは悪いこと」とよく聞きます。しかし、本当に「迷惑」なのかは人によって受け取り方が違います。正しさを一つの基準で決めるのは難しいのかもしれませんが、この機会に、自分の言葉づかいや周りの人との関わりを見つめ直すよい機会にしたいです。ぜひご家庭でも話題にしてください。

## 強い心を持ち

薬物乱用防止について、学校薬剤師さんにお越しいただきお話ししていただきました。薬物は、たとえ一度だけの使用でも脳や体に深刻なダメージを与え、心や人間関係、人生そのものを壊してしまいます。「友達に勧められた」「一回だけなら…」という油断がきっかけで、依存症になり、抜け出せなくなるケースが多いです。薬物から身を守るためには、「絶対に使わない」と自分で強く決めること、そしてもし誘われてもはつきり断る勇気が必要です。自分自身の判断と行動が、自分自身の未来を守ります。「正しい選択」ができる力を育てることが大事だと学び合いました。

## 実りの秋

中体連新人大会が始まっています。新チームとなり、日々の練習に取り組んでいます。南佐久チームや合同チームですので、なかなか一緒に練習する機会が少ないですが、努力してきたことを出し切りたいです。結果については全種目終了後にお知らせします。

校内では、様々な授業公開に向けて職員も取り組んでいます。5校学力向上フロンティアでは3年生の探究発表、南佐久学事職員会では理科の授業を公開します。日頃の授業改善を進め、多くの方に見ていただき評価をしてもらいます。本校の今年のキーワード「アウトプット」の実践です。参観者に「フィードバック」をいただきさらに授業改善につなげます。授業参観、学校運営委員会でも同様に参観者のご意見をいただき向上させたいです。

生徒会の引継ぎもあります。実り多き秋になることを期待しています。